

令和7年3月25日

新キャンパス長会議資料

副校長 尾崎 圭

令和6年度学校関係者評価委員会

日時:令和7年3月19日(水)14:00~15:30 野田本校2階1A教室

参加者:白波瀬校長、遊佐研究主任、大屋教務主任、尾崎

小原 裕二 様(江戸川大学情報文化学科講師)

古矢 浩祥 様(野田市立第一中学校校長)

井田 裕 様(野田市立岩名中学校校長)

大保 一成 様(野田市立岩名中学校教諭)

堀 糧成 様(野田鎌田学園高等専修学校校長)

海老原 久美 様(さいたまキャンパス卒業生保護者)

海老原 椿 様(さいたまキャンパス令和4年度卒業生)

熊谷 柊志 様(野田本校令和5年度卒業生)

ご意見抜粋

1. 教務分野について

- ・先生と生徒との距離が近く、親身に生徒に寄り添っている成果だと思います。教職員の評価が厳しいのは、より生徒の満足度を上げようと努力している姿のように感じました。
- ・適切な対応の結果、生徒・保護者ともに見通しをもって学習に取り組める状況にある。
- ・特色ある教育が実施されていて素晴らしい。
- ・生徒が選択できるカリキュラムや週3日制など魅力的である。
- ・レポートの質が良いという部分はすごい。ただ、興味深い授業が少し足りないのは生徒のやる気が少しずつ下がっていくのではないかと思った。
- ・もう少し回収率が上げられればいいですね。

2. 満足度について

- ・三者すべて高評価ということは、生徒・保護者と教職員の目指す方向が一致しているものと思います。
- ・満足度の高さはすごいと感じる。9割以上の生徒が学校生活、学習に適応できていることは、教育内容の具現化が図られていることと思う。
- ・生徒の個性を生かそうとする先生方の努力がうかがえて素晴らしい。先生方は自身をもってください。
- ・高い満足度は教育効果があらわれている。
- ・教務的な満足度もありますが、親身な指導が全体の評価を底上げしているのではないかと。

3. 進路指導分野について

- ・各キャンパスで実施している進路ガイダンスの成果が出ているものと思う。
- ・依存型の生徒が多い中、学校からの情報提供に満足していることが理解できる。
- ・保護者・生徒ともポイントを比較すると低い。
- ・推測ですが、キャンパスによってバラつきはないでしょうか、進路指導に熱心なキャンパスの評価は高いはず。

4. 生活指導分野について

- ・教職員が親身に寄り添うことでできている生活指導だと思います。
- ・いじめへの対応は、どの教育現場においても大きな課題である。認知・対応・ケアと十分な対応はケースによって異なるが、引き続き尽力されたい。
- ・通学風景を見て落ち着いた雰囲気 of 生徒が電車に乗っているのも見る、真面目そうです。
- ・特別な事情の生徒が多い中、適切な指導がなされていると思う。
- ・いじめが多い中でしっかり指導されているのはすごい。
- ・生徒から見えている視点と教員の視点で、ギャップがあるように感じる。
- ・教職員の自己評価が厳しいのでは？

5. 学習環境について

- ・教職員の厳しい評価は、ICT の環境への要望でもあるのではないかと思います。
- ・予算に関わる問題は簡単には対応できない。数年間単位で計画説明と、進捗状況の説明と理解を求めていくしかない。
- ・ICT 環境については日々進化しており、充実は難しいものがある。
- ・ICT はもう少し取り入れても良いのかと思った。

6. その他全般について

- ・通信制高校における部活の在り方について検討する必要があるかもしれません。ただ、入部を強制しているわけではなく、緩やかな集まりのなかでの活動となっているので、活動内容には生徒も満足しているように感じられた。
- ・教育相談、行事、特活への高評価が素晴らしい、先生方のアイデアと継続した取り組みの上に成り立つことだと思う。
- ・部活動のニーズに応えることは難しいことと理解している。
- ・部活はかなり前から問題なのでもう少し変えるべき。
- ・教員の自己評価が低いのは何かもっとできあのではないのか、何かしてやれたのではないのかという後悔の積み重ねからくるものではないか。
- ・部活動に対する評価が厳しいようですが、具体的に求められている在り方が知りたいです。

7. 教職員分野について

- ・自己研鑽に積極的な教職員がいるものと思われる。業務の改善できる部分の抽出をして、教職員の時間確保できるように改善が必要かと思います。
- ・研修の時間の確保は、どの教育現場でも課題です。ご苦勞の状況がうかがわれます。

- ・自己評価がまじめですが、教育の成果は出ていると思われます。
- ・生徒、保護者と教職員の意見に差があるのは、教職員の努力の表れだと思う。
- ・全体的に教員間の共有やスキルアップの部分が低く現場の人が少し苦しい状況であるように感じた。コンプライアンスやハラスメントが守られているのは、現場にとっては安心できるのでとても良いと思った。
- ・先生と生徒の距離が近いのはさいたまキャンパスだけではなく、全体的にそうなんだと知れました。
- ・先生方の意識が高いのは、子どもたちへ良い影響です。学費を上げて頑張っている評価の高い先生にはお給料を上げてください。あずさは学費が他の比べて安いです。
- ・教職員の方々の自己評価が厳しいですね、どのように改善していこうと考えているのか、具体的な提案を求めてもいいのでは？